

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	グッドフレンズ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月1日		～ 2026年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2026年 2月1日		～ 2026年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ボードゲーム等の集団活動を楽しんでいる場面が多くある	<ul style="list-style-type: none"> カードゲームやボードゲームの種類が比較的多く充実している 学校以外での友人関係が構築されている 集団活動を促す声かけやイベント内容の工夫をしている 	<ul style="list-style-type: none"> 集団遊びやイベントでのチーム分けなど多様な他者と交流が出来るように促していく イベントなどの質の向上に努め、社会性を育む機会を設定する
2	ワンフロアのため、施設内に死角が少なく子どもたちを安全に見守れる	<ul style="list-style-type: none"> 職員は子どもたちの動きが見やすい位置に立つことを意識し、適切な見守りを行っている また、子どもの活動やイベント内容に応じて机を移動させるなど、安全に過ごせるように配慮している 	<ul style="list-style-type: none"> 数種類の可動式の仕切りなどを活用し、様々な活動形態に配慮した環境作りを行う 定期的に施設内の安全点検を実施し、机や備品の配置を改善して、より見守りやすく安全な動線を確保する
3	児童の活動や特性に合わせて環境設定を行い安心して過ごすことのできる雰囲気作りができています	<ul style="list-style-type: none"> 視覚的支援やスケジュール掲示等を行い、見通しを持たせている 子どもたちの声に傾聴し、日頃の活動を通して信頼関係を築くことができるようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> 環境設定の方法等を職員間で共有し、支援の統一をはかる

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	イベントの内容が簡単すぎることもある	<ul style="list-style-type: none"> 児発に合わせた内容だと、イベント内容が簡単すぎるので、手持無沙汰になってしまう 年齢の差が広く、すべての発達段階にイベント内容を合わせることが難しい場面がある 	<ul style="list-style-type: none"> 先生役など役割を持たせることで、手持無沙汰感を解消する イベントの工程を2パターン考え自分でできることを増やす
2	ワンフロアのため、学習・ボール遊びなど複数の活動が混在し、児童によっては学習に集中しづらいことがある	<ul style="list-style-type: none"> 施設の構造上、部屋を完全に分けることは難しい 職員による活動の調整ができていないことがある 	<ul style="list-style-type: none"> マットやパーティションなど可動式のものを活用することで、個々の活動に配慮する 子どもの要求と場の状況を的確に判断し、調整する力を職員全体で改善することができるようにする
3	遊びの内容が固定化されている	<ul style="list-style-type: none"> 限られた来所時間で、できることが限られてくる 好きなことをしたい子どもが多く、そこで遊びが広がっている 	<ul style="list-style-type: none"> タイムスケジュールを立てるなど、活動にメリハリをもたせる 視覚資料や伝え方を工夫し、新しい活動に対して子どもの興味が向くように工夫する

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名	グッドフレンズ					公表日	2026年3月1日		
						利用児童数	30	回収数	10
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	1	0	0			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	0	0	1			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	0	0	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	0	0	0			
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	0	0	0			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	0	0	0	土日は多様なイベントを実施しており、 様々なことに挑戦することでできている	今後も職員間でアイデアを出し合い多種 多様なイベントを行っていく	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	0	0	0			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	0	0	0			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	0	0	0			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	0	0	0			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	0	8			
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	0	0	0			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	0	0	0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	0	0	4			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10	0	0	0			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	0	0	0	気になる事があれば連絡帳に書いて相談 している	職員間で相談内容を共有し、全員が把握 できるようにしている	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	0	0	0	出来るようになったことも一緒に分かち 合える 親身で助かっている	送迎時のフィードバックやLINE等を活用 し、こまめな情報共有を行っている	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	5	0	1	4			
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	0	0	1				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	1	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	0	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	0	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10	0	0	0	先生たちが好きで家でも話題に上がっている	今後も様々な活動を通して子どもたちと信頼関係を築いてまいります
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	0	0	0	今日はこんなことがしたい！と口にしていて家・学校と同じくらい大切な場所となっている	今後も子どもたちの言葉を尊重し、楽しく過ごすことができるように支援を工夫してまいります
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	0	0	0		

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	グッドフレンズ		公表日			2026年 3月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	部屋が少なく全体を見渡せるので安全度が高い	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1		学習スペースをもう少し区切れたらいいと思う
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	2	定期的な面談があり、目標・振り返りで次に活かすことができる	目標設定と振り返りに広く職員が参画する意識・仕組みが必要だと思われる
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	外部研修の情報を共有し積極的に受講できる体制を整えている	研修内容等を全職員に共有する機会は少ない
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	土日祝のイベントを職員全員で考え、利用者が楽しめる工夫がされている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	3	職員間で支援に対しての子どもの反応等を都度共有している	毎日振り返りを職員全員で行ってはいない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	半年に一度モニタリングを行い、現状に沿った内容に見直している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	2		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1	必要に応じて送迎時や書面での情報共有を行っている	送迎時に職員が少し話す程度
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	4	個の特性等を保護者と共有している	関係機関と共有できる資料の作成や保存が必要
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	6		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	7		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	送迎・連絡帳への記入などで情報交換を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	送迎の際など個別相談に随時対応している	体系的な家族支援プログラムはできていない
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	1	支援計画作成時には保護者との面談を行い、個に沿った計画を立てている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	送迎、連絡帳や公式LINEを通して日々保護者からの相談に応じている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0		親子イベントなどは行っているが、保護者同士が交流する場面はほぼない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	Instagramやブログを活用し活動等の発信を行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	個人情報の取り扱いについて職員間で共通認識を持っている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	各種マニュアルを整備し、確認や研修を適宜行っている	訓練はしているが、想定幅を広げた実践的な訓練が必要
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	アレルギーや既往歴について事前に確認し、職員間で共有している	訓練はしているが、想定幅を広げた実践的な訓練が必要
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	避難訓練などを定期的に行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハットを共有し、再発防止策を検討している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0			